

第2種

写真・宇陀市の●●●●●





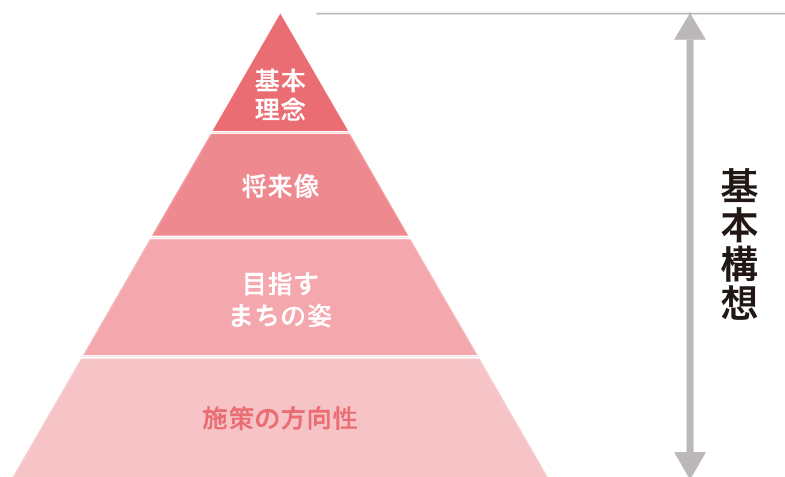
## 第2編

### 基本構想



# 第1章 宇陀市の基本理念と将来像

基本構想で定めた「基本理念」や目指す「将来像」、「将来像」の実現に向けた6つの「目指すまちの姿」、「施策の方向性」を、中期基本計画でも引き続き継承し、これからのまちづくりに取り組んでいきます。



## 基本理念

- 一、すこやかな心とからだを保ち、だれもが生きがいを見いだせるまちを育てます。
- 一、共に支え合い、互いの尊厳を大切にする、あたたかいまちを創ります。
- 一、人と自然が共生しひびき合う、やすらぎに満ちたまちを守ります。
- 一、歴史や先人の英知に学び、文化と産業の伸展する、活力あるまちを目指します。

## 将来像

みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市  
～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～

## 第2章 将来像の現実に向けた目指すまちの姿

宇陀市の将来像を実現するための「目指すまちの姿」について、6つの柱を定めています。

目指す  
まちの姿

1

### 健幸なまち

「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現を目指し、地域住民がいきいきと健康に生活できる環境や、市民一人ひとりがお互いに助け合い、支え合うまちづくりの実現を進める必要があります。

そのため、保健・医療・福祉が連携し、健康づくりを行うとともに医療環境の充実や母子保健施策、障がい者施策、高齢者施策等の充実を図ります。また、「自助」「互助」「共助」「公助」の理念を浸透させ、地域の特性を活かしながら、「健幸」を実現するためのまちづくりを進めていきます。

目指す  
まちの姿

2

### 暮らしやすいまち

宇陀市の魅力をより向上させるため、様々な都市基盤について、持続可能な整備・維持・活用を検討・実施することで、誰もが住み良く、安全・安心なまちづくりを進める必要があります。

また、公共交通、道路交通網、上下水道、情報通信基盤等の公共インフラの整備・維持・活用による住み良いまちづくりや移住・定住の促進を進めるとともに、災害に備えた安全・安心な暮らしの実現を進めていきます。

目指す  
まちの姿

3

### 活力あるまち

豊かな自然や歴史、文化遺産といった地域資源が数多くある中で、中心市街地の活性化や雇用の創出、人材の確保が求められています。

そのため、地域資源の保全と活用や、農林畜産業・商工業の再生・活性化に努めることで、活力と個性ある地域産業の創出、持続可能な地域経済の発展を図ります。また、多様化する観光ニーズに対応するため、地域資源のPR活動をはじめとした観光戦略を推進し、関係人口の増加を図ります。

目指す  
まちの姿

4

## 生涯輝くまち

誰もがお互いの人権を尊重することは重要です。いじめ問題等がなく、性別や障がいの有無にかかわらず、自分らしく生涯を通じて輝き、よろこびや生きがいをもって暮らせることは、宇陀市が目指す将来像の実現に向けた基本となります。

そのため、誰もが学び、働き、活動できる地域づくりを進めるとともに、宇陀市に住む誰もが地域で学習活動やスポーツ・レクリエーション活動等に取り組める環境の整備を図ります。また、地域の特性を活かした教育と文化振興を進めます。

目指す  
まちの姿

5

## 自然豊かなまち

地球温暖化やエネルギーの大量消費など、自然を取り巻く環境問題は宇陀市も例外ではありません。宇陀市の魅力である、豊かな自然や美しい田園風景と調和したまちづくりを維持し、さらに強化していく必要があります。

こうした環境問題への対処や宇陀市の魅力の向上を図るため、カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現に向け、自然と共生した、持続可能で快適なまちを進めます。

目指す  
まちの姿

6

## 地域力を発揮するまち

地方分権の進展や行政需要が複雑・多様化する中、市民のニーズを的確に把握することが重要となっています。しかし、財政の健全化が緊急課題とされている中、行政だけで多様なニーズや高度な課題に対応することは困難であり、地域が一体となって対応することが求められています。

そのため、市民、ボランティア団体等と行政が連携することで、自分たちのまちについて考え、取り組む体制を強化し、地域力を最大限に発揮できるまちづくりを進めます。

## 第3章 人口ビジョン

宇陀市の総人口は、出生者数が死亡者数を下回る「自然動態の減少」、市内への転入者が市外への転出者を下回る「社会動態の減少」により、1995年をピークに減少しています。

年齢別人口では、年少人口（0歳～14歳）と生産年齢人口（15歳～64歳）が減少、老年人口（65歳以上）は増加しています。国立社会保障・人口問題研究所が2018年に公表した宇陀市の将来推計人口は、全国的な減少よりも速いペースで進んでおり、2030年には22,249人となり、2020年に比べ5,872人減少し、特に生産年齢人口は3,952人、年少人口は780人減少すると予測されています。今後、現状のまま何もしない場合には、市民の生活にとって重大な影響を与えると考えられます。

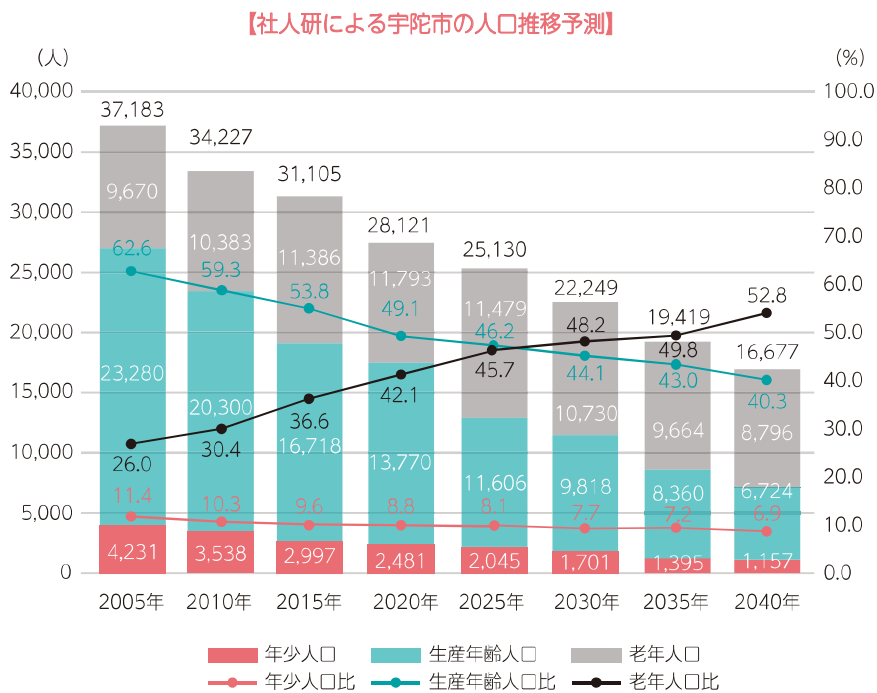
この人口ビジョンは、宇陀市における人口の現状を分析し、中期基本計画で目指す将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現に向けたまちづくりを進めることを目的としています。

### (1) 人口の現状と分析

#### 人口の推移と将来の見通し

宇陀市の住民基本台帳人口は、合併した2006年1月の38,626人から2021年10月には28,703人になるなど年々減少が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所によると、国勢調査の人口では2040年には16,677人になると推計され、年齢構成を見ると年少人口の割合が少なく、老年人口の割合が増えることが予測されています。

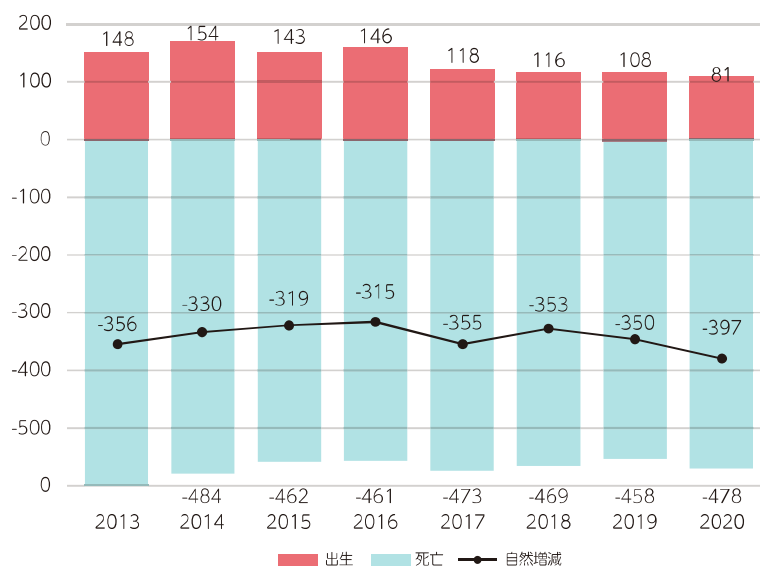


## 出生・死亡(自然増減)と転入・転出(社会増減)

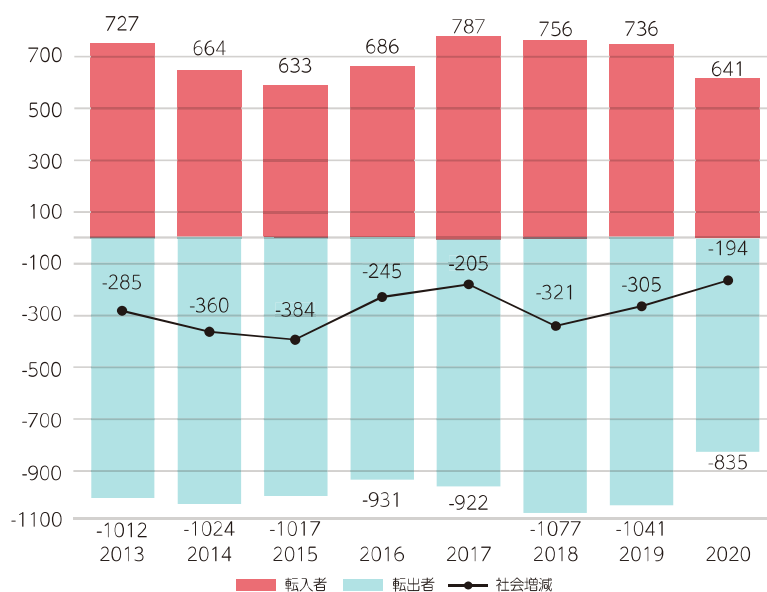
宇陀市の出生・死亡者数は、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の状態が続いています。転入・転出者数は、転出者が転入者を上回る「社会減」の状態が続いています。

総人口の推移については、人口減少が続いています。

【出生・死亡数・自然増減の推移】

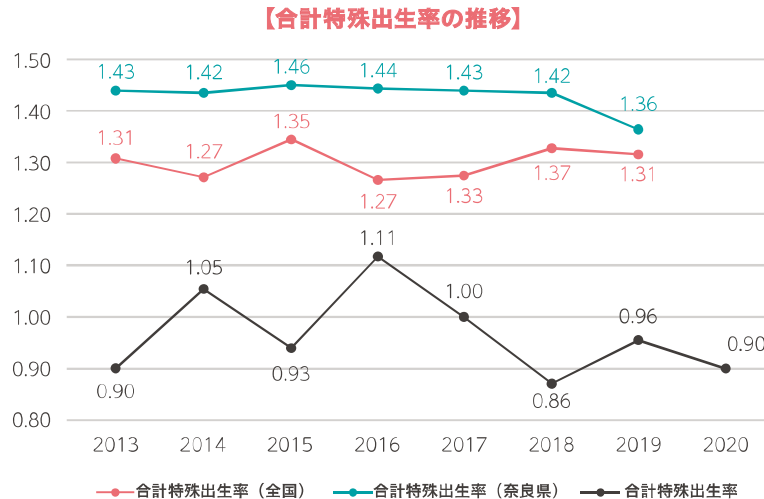


【転入者・転出者・社会増減の推移】



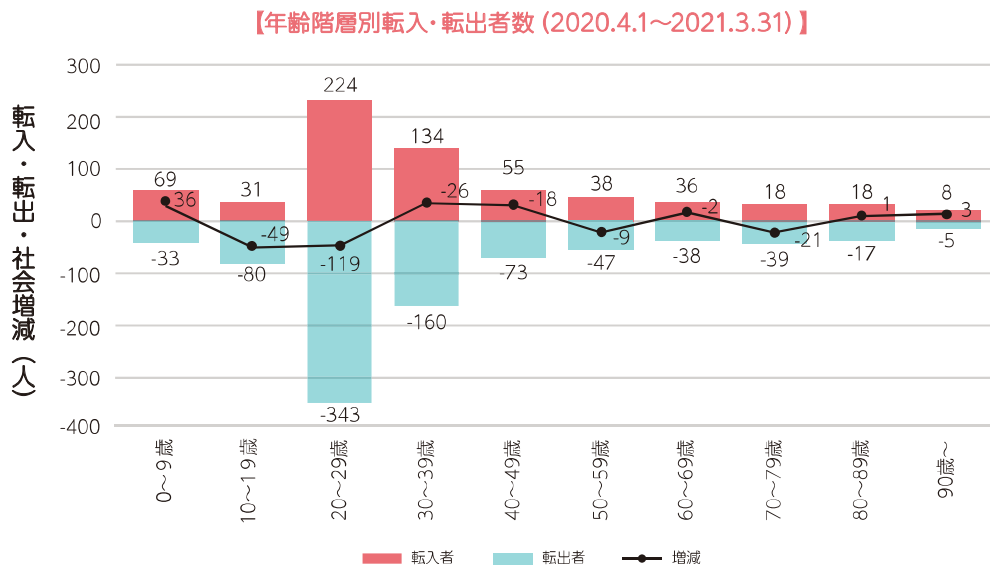
## 自然減の要因

死亡数はほぼ横ばいであるのに対して、出生者数は減少しています。また、合計特殊出生率は、2018年以降1.0を下回る低い水準となっています。これは、奈良県や国の数値を大きく下回っています。このため、自然動態による増減は、自然減が続いています。



## 社会減の要因

2020年度の年齢別人口移動では、若い年代に多くの転入・転出が見られます。これは、就職等に伴う移動が考えられ、10～19歳、20～29歳、30～39歳にかけて特に転出超過となっています。9歳以下等での転入超過は見られるものの、全体では社会減が続いています。





## (2) 将来人口

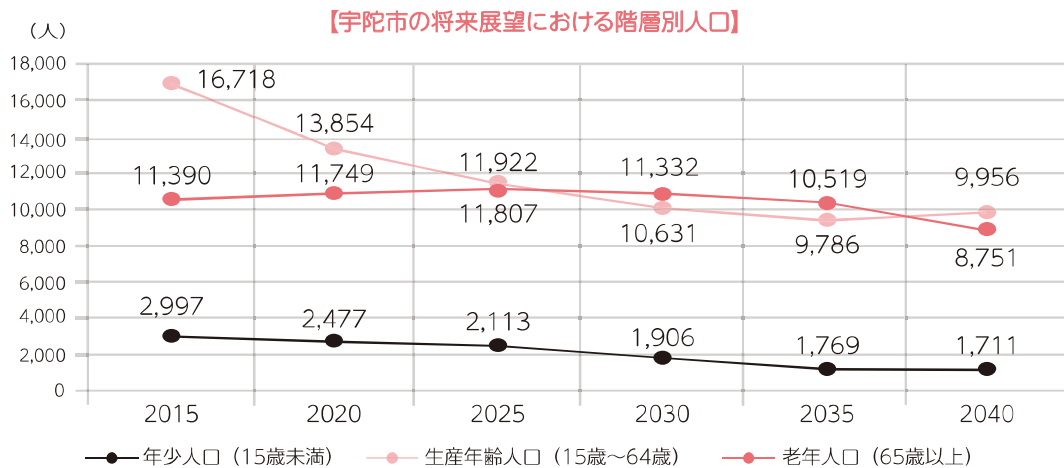
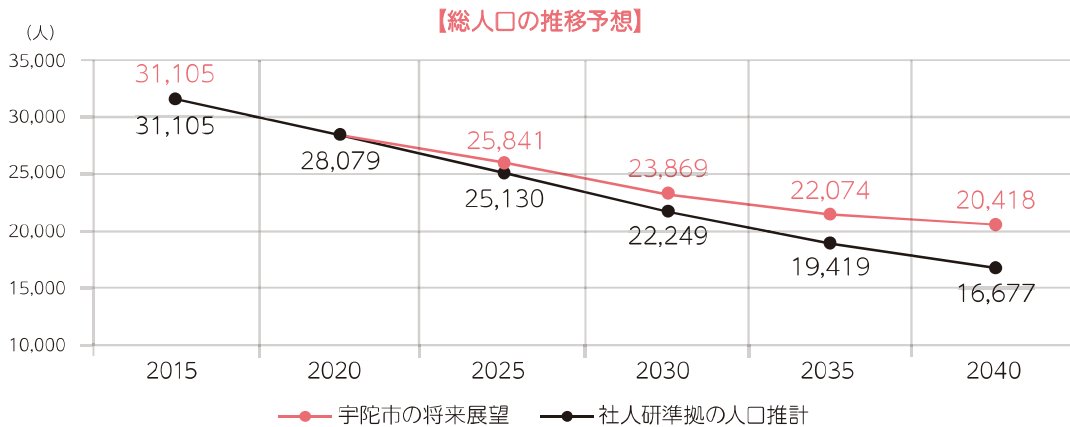
人口減少の進展は、地域の需要低下や労働力人口の減少による経済活動の縮小を引き起こし、雇用が不安定になることで結婚や子育て・出産にも影響が及びます。

こうした負のスパイラルを防ぐために、農林畜産業の振興や事業所活動・企業誘致による地域の活性化、まちの魅力向上の取り組みを通して継続的な好循環を生み出すことで、目指すまちの将来像の実現を目指して、まちづくりを進めていきます。

まちづくりを実施していく中で、各分野の施策をPDCAサイクルにより見直していくことで、出生数の増加や転入・定住者の増加、高齢者の健康寿命の延伸を図り、2040年の人口20,000人を保てるよう、事業を実施していきます。

将来人口 (2040年)

20,000人








第3編

写真：宇陀市の●●●●●





# 第3編

## 基本計画

## 第1章 まちづくりの成長戦略

---

宇陀市では、2017年度に策定した、市政運営の指針となる「第2次宇陀市総合計画」に基づき、まちづくりを進めてきました。2022年度からは「中期基本計画」の計画期間となることから、新たに中期基本計画を策定しました。

計画の策定にあたっては、人口減少問題や地域経済の活性化、雇用の確保など、既に顕在化している課題をはじめ、暮らしの中で感じている課題についてアンケートや座談会を開催し、その反映に努めてきました。

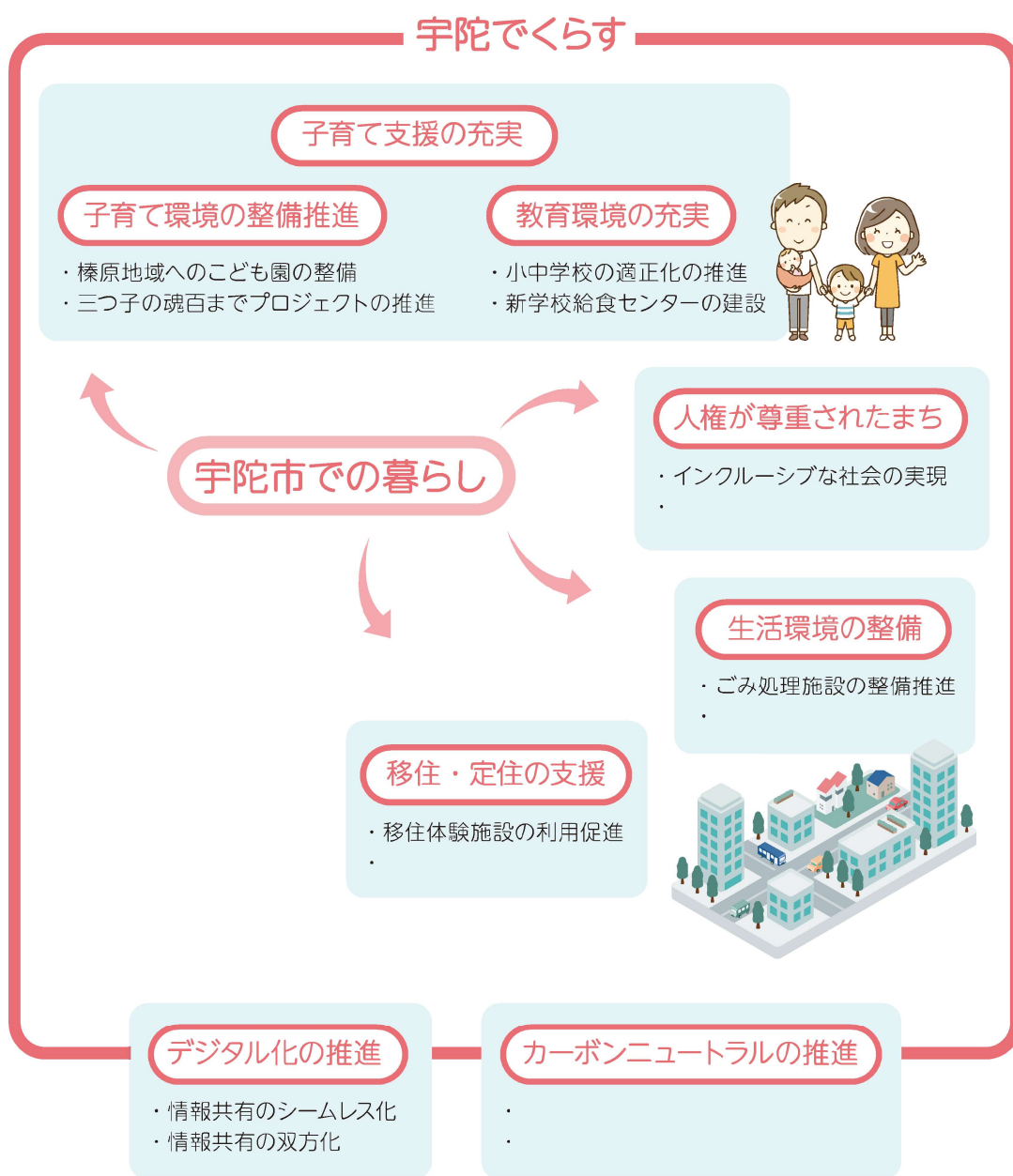
また、これまでの施策を振り返るとともに、変化し続ける社会情勢に対応するため、今後の宇陀市のまちづくりを牽引するリーディングプロジェクトを位置づけています。

その他にも、宇陀市の将来像や目指すまちの姿の実現に向けて取り組んでいく施策においては、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式やSDGsの考え方の導入等を踏まえアップデートを図っています。

本計画に基づき、将来像の実現に向けた施策を進めていきます。

## 高原都市宇陀を成長させるリーディングプロジェクト（中期基本計画）

リーディングプロジェクトは、地方創生や人口減少対策に資する「しごと、ひと、まち」に関する施策を、横断的に取り組むとともに、今後4年間、重点的に推進することで、将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現を図るものです。





## 宇陀ではたらく

### 商工業の再生・活性化

- ・大和高原の玄関口としての駅前整備
- ・保全と活用による土地利用の推進
- ・企業誘致の推進
- ・空き家、空き店舗の活用



### 地域資源を活かした 農林業の再生・活性化

- ・大和高原宇陀ブランドの発信
- ・地域資源を活かした人材育成
- ・スマート農業など農業生産基盤の整備推進
- ・ジビエ加工施設の整備推進

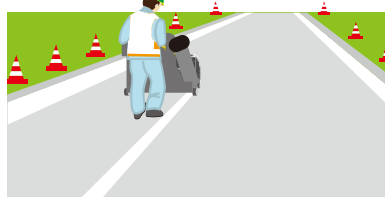


### 観光戦略の推進

- ・自然や歴史・文化資源を活かした周遊・滞在型観光の推進
- ・スポーツを通じた関係人口の創出

### 道路環境の整備

- ・重要物流道路としての国道165号の整備推進
- ・通学路の安全確保の推進



### デジタル化の推進

- ・生産性の向上
- ・作業効率の改善
- ・省人化の実現

### カーボンニュートラルの推進

- ・再生エネルギー導入の推進
- ・省エネルギー化の推進



## 宇陀でつながる

### 市立病院を中心とした 地域医療体制の充実

- ・奈良県東部地域の中核病院として、へき地拠点病院である市立病院の機能強化
- ・移動診療車による巡回診療の推進

### ウィズコロナ対応

- ・withコロナ時代の新しいライフスタイルの実践

### ウェルネスシティ宇陀の実現

- ・生活習慣病の予防や重症化予防の健康づくり活動の推進

### スポーツ活動の推進

- ・国民スポーツ大会等の会場誘致

### 福祉環境づくり

- ・誰一人取り残さない居場所づくりの推進

### 災害に備えたまちづくり

- ・自然災害や感染症に備えた安全・安心の強化



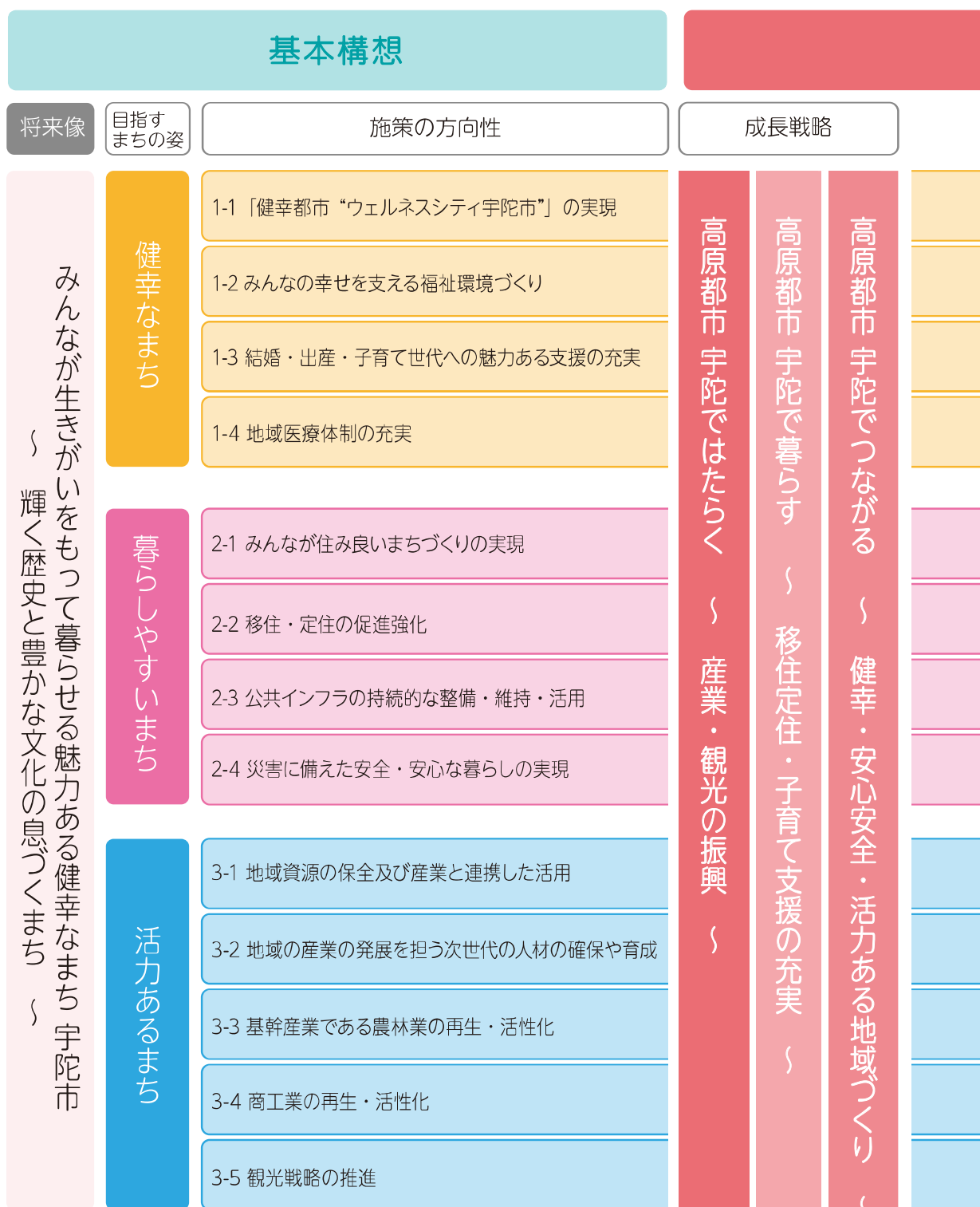
### デジタル化の推進

- ・
- ・

### カーボンニュートラルの推進

- ・
- ・

## 第2章 施策体系





## 基本計画

新たな視点

施策

デジタル化の推進

カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現

- ①新型コロナウイルスなど感染症予防や対策を充実します
- ②健康づくり活動による健康長寿のまちを実現します
- ③高齢者の介護予防を一体的に推進します

- ①だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します
- ②面倒見のいい地域福祉を推進します
- ③医療費の助成による安心できる暮らしを実現します

- ①保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します
- ②子どもが健やかに育つよう支援します
- ③産前産後の支援・授乳児への支援を充実します

- ①医療体制を充実します
- ②地域医療と福祉の連携を推進します

- ①景観や環境を大切にすまちづくりを推進します
- ②交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します

- ①土地利用を推進します
- ②移住・定住者への総合的な支援を充実します

- ①安全で快適な道路環境を整備・維持します ②ニーズに応じた地域公共交通を推進します
- ③効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します
- ④デジタル化に対応した環境の整備を推進します

- ①自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します
- ②防災意識の向上と防災・消防体制を強化します

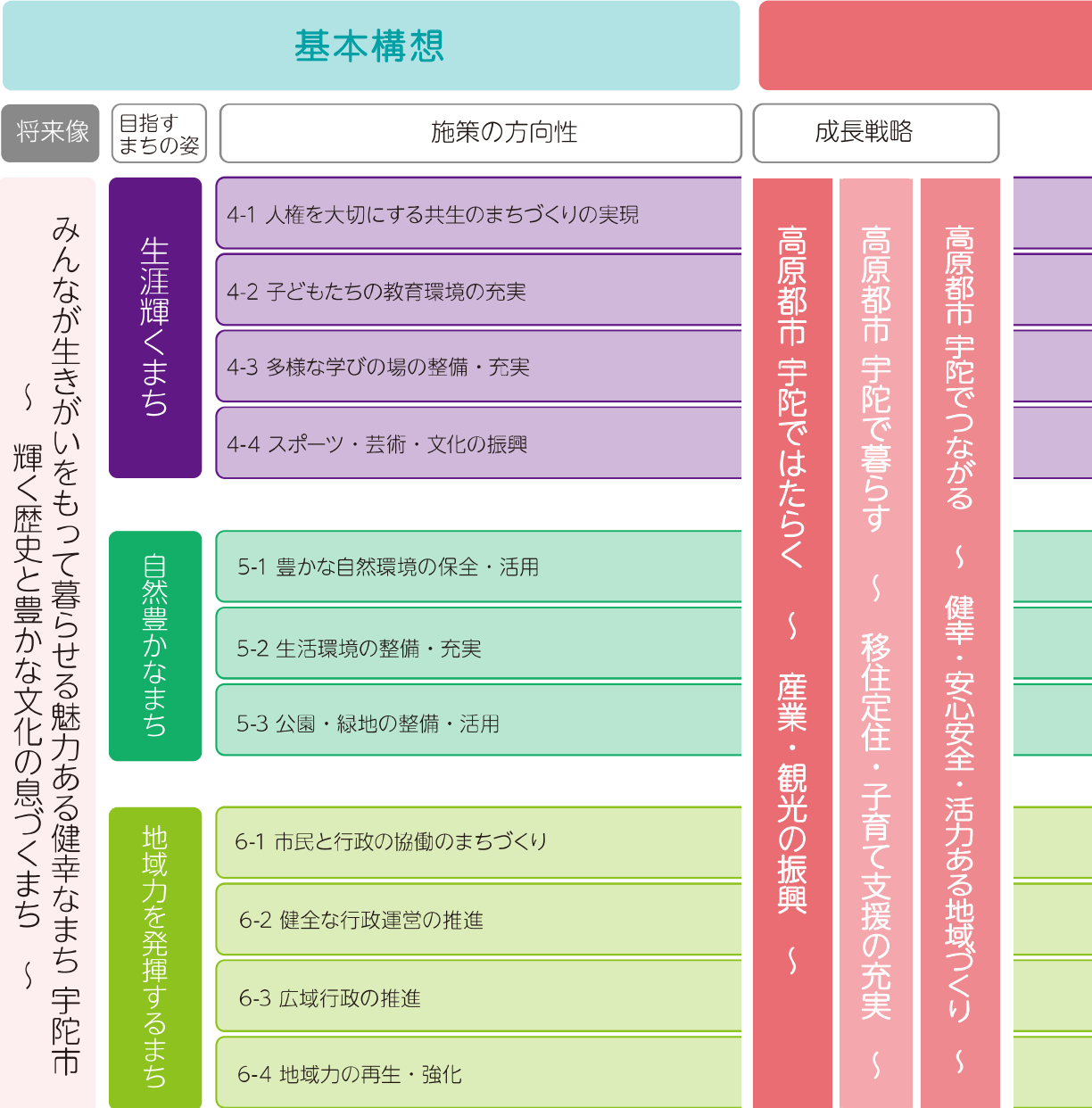
- ①歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します
- ②宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します

- ①起業家など多様な人材を育成します

- ①地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します
- ②人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営を強化します
- ③農林畜産物の生産・流通を推進します ④山林を適切に管理します

- ①駅前の活性化を推進します
- ②地元で活動する事業者を支援します
- ③企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します

- ①魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します
- ②満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします
- ③観光 PR や情報発信を強化します



## 基本計画

新たな視点

施策

デジタル化の推進

カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現

- ①一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します
- ②あらゆる分野での男女共同参画を推進します
- ③仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します

- ①児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます
- ②児童生徒の教育環境を整えます

- ①生涯学習環境の充実に取り組みます
- ②地域社会全体で子どもの育ちを支えます

- ①スポーツ活動の充実に取り組みます
- ②芸術・文化の振興を図ります

- ①豊かで美しい自然環境を保全・活用します

- ①ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します
- ②生活衛生環境の向上を図ります

- ①快適に利用できる公園・緑地空間を提供します

- ①情報発信の充実を図ります
- ②市民協働のまちづくりを推進します

- ①わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します
- ②新たな時代に対応できる行政運営を行います
- ③持続可能な財政運営を行います

- ①広域行政を推進します

- ①市民のまちづくり活動を支援します



## 第3章 施策と持続可能な開発目標 (SDGs) との関係

### 政策体系とSDGsとの関係

目指す まちの姿	基本構想					
	施策の方向性	1 健康と福祉	2 気候変動	3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等
1 健康なまち	1-1 「健康都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現		●	●		
	1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり	●	●	●	●	
	1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	●	●	●	●	
	1-4 地域医療体制の充実			●		
2 暮らしやすいまち	2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現			●	●	
	2-2 移住・定住の促進強化	●		●	●	
	2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用			●		
	2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現			●		
3 活力あるまち	3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用					
	3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成					
	3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化		●			
	3-4 商工業の再生・活性化	●				
	3-5 観光戦略の推進			●		
4 生涯輝くまち	4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現	●			●	●
	4-2 子どもたちの教育環境の充実	●	●	●	●	●
	4-3 多様な学びの場の整備・充実			●	●	
	4-4 スポーツ・芸術・文化の振興			●	●	
5 豊かな自然	5-1 豊かな自然環境の保全・活用					
	5-2 生活環境の整備・充実				●	
	5-3 公園・緑地の整備・活用				●	
6 地域力を発揮するまち	6-1 市民と行政の協働のまちづくり				●	
	6-2 健全な行政運営の推進					
	6-3 広域行政の推進					
	6-4 地域力の再生・強化				●	

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
●		●		●	●					●	●
		●								●	
				●	●						●
			●		●					●	●
		●	●		●						●
●			●		●		●	●			
			●		●		●				
		●							●		●
	●	●	●	●					●		
		●	●			●			●		
		●			●						●
		●		●						●	
		●			●					●	●
		●			●					●	●
		●			●					●	●
	●				●	●	●		●		
		●				●		●	●	●	
		●			●						●
			●		●					●	
		●	●		●	●			●	●	●
									●		●
					●						●